

特定非営利活動法人

 サンかくし



サンカクシャの活動概要

虐待などの影響により「家に帰りたくない」「親を頼れない」
15歳から25歳くらいまで若者を孤立させない伴走支援を提供。
立ち上げて3年で、居場所1ヶ所、シェアハウス3ヶ所、雇用連携企業20社で
計250名の若者1人1人に寄り添うネットワークを構築。

居場所作り



1ヶ所

仕事のサポート



住まいのサポート



3ヶ所

サンカクキチ

居場所：上池袋（豊島区）

サンカクキチ

豊島区上池袋4丁目

毎週火曜・水曜・木曜・土曜日
14時～21時まで

社会人も利用できる
コワーキングスペース

イケア・ジャパンより
内装の提案と家具の寄贈

仕事の体験や進路相談など
のプログラムも実施

株式会社READY FORの助成を受けて実施

サンカククエスト

仕事のサポート



オンライン/各拠点にて

サンカクシャにつながる企業や個人が若者を応援するという目的で仕事を依頼

スタッフやボランティアが若者と一緒に仕事をこなし、働く自信が身につくようサポート

eスポーツの取り組み

サンカクキチ内に
ゲーミングPCを8台設置

毎週火曜・水曜・木曜・土曜日
14時～21時まで無償で活用

株式会社サイコム様より
PC8台無償提供

オンラインゲームでの
相談支援の実施

eスポーツ大会などを通じて
人との交流機会も創出



居住支援概要

住まいを失った若者に対して、安心できる場を提供し、一人暮らしができるようになるまで、自立するまで、継続した伴走支援を行う。2022年末より相談が急増し、月に20件ほど住まいを失った若者の相談に対応している。現在は、シェアハウスでのサポートをはじめ、住まいを失った若者計45名を密に定期的にサポートしている。

入居人数：18名

待機/個別支援18名

卒業後継続支援9名

相談支援



週3～5件

個室シェルター



2ヶ所

シェアハウス



3ヶ所

居住支援に取り組んだきっかけ



2020/07/01

コロナの影響で、仕事がなくなり住まいもなくなる若者からの相談が。タイミングよく、物件の情報を教えてもらい、シェアハウスを開始。財源はないが、物件を借りるところからスタートした。

住まいの課題を抱える若者の現状

住まいに課題を抱える背景

親からの虐待で
家を追い出される

一人暮らししていたが、
家賃を払えなくなった

家出したが、
行き場がない

家出したので
身分証がない

ネットカフェにいるが、
お金がなくなった

住所がないので
仕事を探せない





ARAICHAN



プロフィールを編集

あらいちゃん@お悩み相談受付中

@araichan5

NPO法人サンカクシャで代表 / eスポーツチームOWLRISEのオーナーの荒井ちゃんです
困っている若い人がいたら紹介/相談してください(匿名で対応します) 引きこもり、不登校、ニート、家庭内暴力など困ってる方はお力になれると思います。シェアハウスもやっています。お気軽にDMを！ゲーム好き特にAPEX

🎮 ゲーマー 📍 悩み相談はDMまで 🌐 sankakusha.or.jp

📅 2021年12月からTwitterを利用しています

住まいを失う 若者へのリーチ



あらいちゃん@お悩み相談受付中 @araichan5 · 7月13日

ちょこちょこ問い合わせもらってますが、若者向けのシェアハウスやっています。男性用、女性用あり、月3万円+水道光熱費で住めます。

所持金がない、家を追い出されたなど、緊急の場合も相談してください！IKEAさんからご寄付いただいた家具が揃ってます！

#シェアハウス #家出



こんにちは。
シェアハウスのツイートを見て連絡させて頂きました。

2022年5月11日 午後2:27

リクエストを許可しました

お、メッセージありがとうございます！ぜひ一度話し何えると嬉しいです。入居希望でいいでしょうか？下見などもウエルカムです！

2022年5月11日 午後3:08 ✓

入居希望です。

2022年5月11日 午後7:06

なぜ公的支援に繋がらないのか

繋がった若者にヒアリングした一例

住まいに困る

ネット検索する

公的支援の情報に
アクセスする

難しそう、めんどくさそう

以前の嫌な記憶を思い出す

SNSで検索する

気軽、難しくない、けど怪しい
情報に触れる

困ってるから安易に連絡する

変な業者に引っかかる

サンカクシャにつながる

なぜ民間で住まいの支援をしないといけないのか？

あくまでもサンカクシャの一例

- 1 18歳以降の住まいの支援がない
- 2 公的支援に抵抗がある若者が多い
(以前、保護されて嫌だった、役所の雰囲気苦手、生保を断れられた)
- 3 公的支援が若者に合っていない
- 4 そもそも、公的支援を知らない、勘違いしている

住まいがなくなる

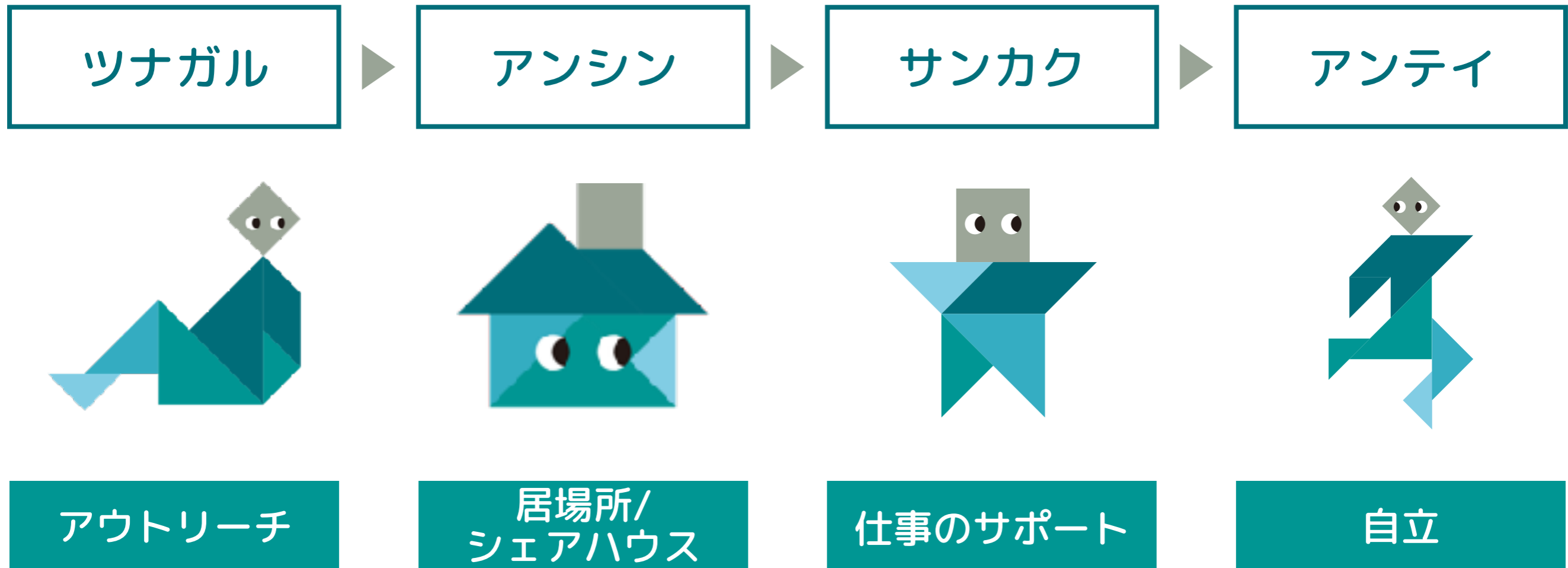
区役所に相談する

生活保護の申請をする

無料定額宿泊所などの
施設を案内される (2週間~1ヶ月)

施設が合わず、飛び出してしまふ

自立までの伴走のステップ



安心できる場を獲得し、さまざまな経験を重ね、
自信が身につくように1人1人に伴走する